



# 仏法領 ぶつぽうりょう

第81号

発行：真宗大谷派

念信寺

〒 824 - 0202

福岡県京都郡みやこ

町犀川上高屋761

☎ 0930-42-0329

Fax 0930-42-0502

ホームページ

nenshinji.org



## 秋のお彼岸法要

9月 27日（日）

～ 28日（月）

勤行 正信偈念佛和讃

法話 瓜生 崇師

（滋賀県東近江市玄照寺住職）

どうぞお参りください  
※詳しくは第4面をご覧下さい

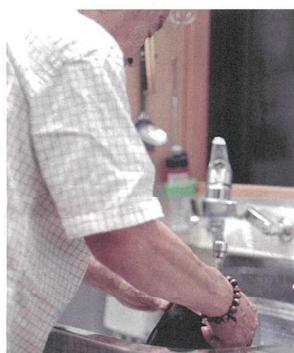
## 「日々の暮らし」

毎日、家族と暮らせる喜び  
毎日、あいさつが出来る喜び  
毎日、ご飯が食べられる喜び

私の暮らしは、幸せでいっぱいだ  
当たり前を感謝し  
暮らしを楽しもう

あなたがいる  
日々の暮らし  
私を幸せにしている

（写真・文 大迫光浩）



南無阿弥陀仏

本堂後ろの柱には、作業時にブヨを追い払う火縄（蚊取り線香のようなもの）が未だかかっています。これも同行の作。

## 日々の営み

コロナウイルス以降、最近は近親者での葬儀ばかりです。お見送りできない無念さが残る方も多いでしょう。しかし、いいこともあります。

華美にならないということです。世間体をあまり気にしないでいいので、飾らず、肉親の死に向き合えることです。

死者は厳肅なすがたをしています。その人の生涯はどんな意味があつたのか。言葉にはならなくとも、遺体は抜け殻でなく、生き生きと語っています。見送る人にも生まれて生きることを問いかけてきます。

そこから意味を言葉にして抽出してしまうのではなく、語りかけてくる事柄そのものをいたたくしかありません。

そこに日々の営みのヒントがあります。看病や葬儀、人を見送るということ、考えることまでも他人任せになつて、大事なことを見失つていなければなりません。

四十九日法要までの中陰の期間は自分を内仏の前に据えることを教わる時間です。

如来様からの大事な問い合わせをいただくところに日々の営みが始まります。どんよりとした自己中心の意識より、もつと違う位相のものです。



## コロナ禍で思うこと

吉田昭和（北九州市小倉区）



今年は、コロナと風水害で例年に無く人類にとって試練の年と思う。当事者の皆様には心よりお悔やみを申し上げ、また、対応に従事されている関係者の皆様のご尽力に心より敬意を表します。

こうした中、冠婚葬祭についても例年に無い対応が行われ、我慢を余儀なくされている人々が多くおられると思う。 知り合いの息子さんの結婚式の事である。 結婚式に出席して欲しいとの連絡が年はじめにあったが、先日、内輪だけの少人数で行うとの謝りの連絡を頂いた。人生の門出を皆でお祝いをするべき結婚式を、何らかの仕事や活動をして夕方になるとまた飯を喰い、それからしばらくテレビでも観て寝る時間になれば眠る。こんなことの繰り返しが生活するということとも思える。確かにこうすれば命は繋がっていく。つまり生きているということにはなる。これだと人間以外の動物もみな同じ。生物学的には人間も動物の一種だから、嘗みは同じである。

「生活するということ」

NHKの番組「チコちゃんに叱られる」ではないけれど、生活するつてどういうこと、と尋ねられると仲々直ぐには答えられない。

阿部正紀（築上郡吉富町）



朝起きて飯を喰い、日中

寂しいお盆であった。叔父の胸中は如何ばかりであったかと思う。 このような思いを多くの方が感じた事ではなかろうか。 風水害を受けられた方々の心中も如何ばかりかと思うが、当事者でない私が想像できる範囲を大きく超えている事と思う。 自然の力を操る事は難しいが、せめて人類に禍になる事は操れる様な社会になる事を願っている。



## 紺ちゃんの独り言

今日の一針 明日の十針

（今は小さな綻びも10日もすれば大きくなる広がるの例え）

6月の長雨、雨がやむと今度はかんかん照りの毎日、それが少し落ち着くと今度は8号9号10号と立て続けに台風特に10号は観測史上最大の台風と

大きく報道された。農業を生業にしている者としては、天気に振り回されている感がする。

早くコロナ感染症が終息する事を願うばかりです。

尾形紺光（田川郡添田町）



稲刈りの風景



とる時には猛烈な勢いでダッショウして餌を捕える。動物も生活をしているのである。従つて、のんべんだらりと一日を過ごしていることは生活しているとは言えない。何らかの活動をしなければならないのです。

依然として収まる気配がない、来年のオリンピックも開催できるか心配になつてくる。何か1年中心配の種が尽きない毎日を暮らしているようである。ある言葉に天候や流行病などが事業や生活がうまくいかない原因ではなく平等に与えられた条件であるとの言葉がある。日頃災難に対する備えをを少しずつでもする者が、被害を最小限に抑える事が出来るんではないだろうか？

栽培している野菜に害虫や病気を見つけた時に処置をして置かない、10日後には取り返しがつかないようになっているのが常である。

今日の一針 明日の十針。何事もする事をしておけば大きな被害にはならないと思う。心配する前に備えをする事である。

急いで物事を成し遂げようとするときは、危険を含む近道を行くより若干遠道でも安全確実な方法を取ることの方が得策と思う。

早くコロナ感染症が終息する事を願うばかりです。

おがたひろみつ



が必要になつてきたし、今年は去年以上に秋ウンカの被害が顕著であり、我が家も早々に稻刈りをすまして少しでも被害を食い止めた様な状況である。

社会を見るとコロナは

依然として収まる気配がない、来年のオリンピックも開催できるか心配になつてくる。何か1年中心配の種が尽きない毎日を暮らしているようである。ある言葉に天候や流行病などが事業や生活がうまくいかない原因ではなく平等に与えられた条件であるとの言葉がある。日頃災難に対する備えをを少しずつでもする者が、被害を最小限に抑える事が出来るんではないだろうか？

栽培している野菜に害虫や病気を見つけた時に処置をして置かない、10日後には取り返しがつかないようになっているのが常である。

今日の一針 明日の十針。何事もする事をしておけば大きな被害にはならないと思う。心配する前に備えをする事である。

急いで物事を成し遂げようとするときは、危険を含む近道を行くより若干遠道でも安全確実な方法を取ることの方が得策と思う。

早くコロナ感染症が終息する事を願うばかりです。

おがたひろみつ

尾形紺光（田川郡添田町）

## 「コロナ下の生活」

寂しいお盆であつた。叔父の胸中は如何ばかりであったかと思う。 このような思いを多くの方が感じた事ではなかろうか。 風水害を受けられた方々の心中も如何ばかりかと思うが、当事者でない私が想像できる範囲を大きく超えている事と思う。 自然の力を操る事は難しいが、せめて人類に禍になる事は操れる様な社会になる事を願っている。

人が生きてゆく期間は長い。平均的には七十、八十年と続く。この間に生活は山あり谷ありということになる。このことが、人間に特徴的な喜怒哀樂という感情が生まれてくることになると思う。また、外部的な要因でも生活が乱されることがある。最近の例では、新型コロナウイルスにより平穏な生活が乱されることが起きている。

だが、そんな惑乱に負けない淫瀾とした生活を送ることにより乗り切つてゆくことができるのです。頑張りましょう。



初盆の時、叔父とはゆつくり叔母の事を話したいと思っていたが、コロナ蔓延の中、長居は遠慮し、お線香をあげるだけの短いお参りとなつた。個人をゆつくり忍ぶ行事であるが、残念ながら叶わず、父には感謝しかない。

初盆の時、叔父とはゆつくり叔母の事を話したいと思っていたが、コロナ蔓延の中、長居は遠慮し、お線香をあげるだけの短いお参りとなつた。個人をゆつくり忍ぶ行事であるが、残念ながら叶わず、父には感謝しかない。

## 秋のお彼岸法要ご案内



## 法座予定

**真宗大谷派第26代門首に  
大谷暢裕氏が就任されました**

猛暑の夏でしたが、朝晩は過ごしやすくなりました。  
皆さまいかがお過ごしですか？

さて、秋のお彼岸法要を左記のように勤めます。皆  
作法要はコロナ禍を避けて中止致しましたが、今回  
おりまでので、できれば表の左下の日にお参りくださ  
るようにお願い致します。当日のご都合が悪い場合は  
いずれの日でも構いません。

※マスクの着用をお願いします。

お茶は各自ご持参ください。

### 記

一、講師 瓜生 崇先生

滋賀県東近江市 玄照寺住職  
日本脱カルト協会理事 韶流書房代表



| 期日       | 達     | 地図                              | とのお参り予定のお願い                   |
|----------|-------|---------------------------------|-------------------------------|
| 脛(二千七百日) | 午後一時半 | 伊原瀬・未井・下木井・丸・内垣・下木庄<br>・松坂・他地区※ |                               |
| 二千八百日    | 午後一時半 | 末庄・鎌・上臺屋・他地区※                   |                               |
|          |       |                                 | ※他地区とは、豊津・築上・行橋・苅田・田川・北九州等です。 |

- マスクの着用をお願いします。●お茶は各自ご持参ください。
- 法座は2日間午後のみです。出来れば地区指定の日にお参りください。
- 本堂の椅子は余裕をもって配置し、換気に努めます。体調の不安がある場合はご遠慮ください。
- 出席者は、豊津・築上・行橋・苅田・田川・北九州等です。

出席者  
議題  
日時  
出席者  
責任者・総代4名住職・坊守  
二〇二〇年6月20日(土)午後2時

皆作前総代会  
議題  
・月末予定の皆作法要について  
・決算報告並びに今年度依頼  
・その他  
・本山納金について  
・皆作法要は中止にする。  
・本年度の本山納金は5,000円。  
・秋彼岸に納めていた  
・ただくことになりました。  
宜しくお願ひ致します。

決定事項  
・本山納金について  
・決算報告並びに今年度依頼  
・その他  
・ただくことになりました。  
宜しくお願ひ致します。

### 彼岸前総代会

二〇二〇年9月16日(水)午前10時半

- ・御正忌報恩講について
- ・次期総代(城井谷選出予定)について
- ・その他



8/12朝、浄真寺、  
お盆の準備完了

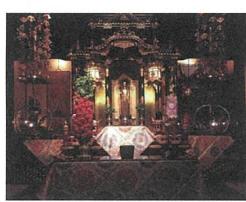


7/29初の九州教区会、「九州  
教区」の看板が上がる。



6/5鐘を打ちに来たよ！

### お寺の活動



8/12お盆の準備完了



7/30初の久留米での九州教  
区門徒会



美しい空、不思議！



24年門首を務められた大谷暢顕氏が  
本年6月30日に退任され、7月1日に  
大谷暢裕氏が第26代門首に就任されました。  
前門首暢顕氏の従弟にあたり、1歳の時から  
ラブラジルに居住、物理学者。現在69歳。  
二〇一一年より真宗大谷派の鍵役・開教司  
に就任され、二〇一五年より日本に暮  
らしています。趣味は書道と料理だと  
か。



大谷暢裕氏が第26代門首に  
就任され、二〇一五年より真宗  
大谷派の鍵役・開教司に就任され、二〇一一年より日本に暮  
らしています。趣味は書道と料理だと  
か。



8/31教務所長巡回、善徳寺さん



8/15浄真寺納骨堂お参り



8/15初盆とご法事、お寺で



8/16お盆法要

台風10号とともに猛暑も終わり、急に涼しく過ごしやすくなりました。自然環境は、コロナウイルス感染症も含め、昨今とくに変化が激しい。一方、私は日常生活に追われ、变化に乏しい毎日を送っています。しかし、最近は年齢のせいでしょうか。

お寺は、春のお彼岸は一座のみで住職が法話、皆作法要は中止、お盆は昼の一座のみ。仏教婦人会追弔会も中止。その他、組や教区の教化活動も中止や延期。そんな中でも日豊教区ほか5教区が九州教区になり、事務手続きや会議で結構忙しかった。法座はしなくて、掃除や本堂のお荘厳、境内の掃除があり、よく働いた。お寺はとにかく休みがない。といいつつ、晚酌と寝転んで映画を見たり、けつこう怠け者でストレスをかわしていると思います。

### あとがき

今号は「コロナウイルス下の生活」がテーマでした。

お寺は、春のお彼岸は一座のみで住職が法話、皆作法要は中止、お盆は昼の一座のみ。仏教婦人会追弔会も中止。その他、組や教区の教化活動も中止や延期。そんな中でも日豊教区ほか5教区が九州教区になり、事務手続きや会議で結構忙しかった。法座はしなくて、掃除や本堂のお荘厳、境内の掃除があり、よく働いた。お寺はとにかく休みがない。といいつつ、晚酌と寝転んで映画を見たり、けつこう怠け者でストレスをかわしていると思います。

